

空と窓と

京都の路地は奥に深いです

nYa



出町柳というのは、鴨川と高野川が合流するあたりの東岸にあたります。  
此処から北へ、叡山電鉄という小さな私鉄が延びていて、  
その沿線に住宅地が広がっています。

今回はそのあたりをうろうろ、、、というか道に迷い倒しました。

京都はこういう時計屋さんが多いです。



米屋さんの軒下

キッコーマン、ヒガシマルは分かるんですが、まるほ醤油はあまり聞きません。  
昔は油も醤油も米屋さんが扱ってたんですね。



非常に荒くたい積み方の煉瓦塼、、、だと思ったんですが、  
この窓(?)のところの水平と垂直が綺麗に仕上げられているので、  
この荒いセメントの感じは、実は壁としての味なのかなあ、と。



く、クルマでしょうか、中に入ってるのは。  
が、ガレージだから、クルマですよ。  
わざわざ世の人にこれはガレージで出入り口ですよと  
知らせる必要って何なんですか？

右側の扉の板が節だらけなのは、なんででしょう。  
右の扉はつるつとした板使ってるのに、、、

とか、聞きたい事がふつふつと頭に浮かんで来る  
ガレージでした。



BOULANGERIE

進 冬 堂

---

京都市はパンの消費量が日本一だそうです、  
京都でパンと言えば、進々堂を思い浮かべる人は多いと思います。  
志津屋さんですね（笑）

今はもう珍しくは無いですが、  
随分昔からイトインのcafeをやっておられて、  
そのせいか、お昼時はじいちゃんばあちゃん一杯。  
しかも、どの支店も。



さすが、京都大学近辺ともなるとこんなお店が有るんですね。  
電気低温器各種って、、、冷蔵庫みないなもの？



何に使うんだろう。

マッドサイエンティストの実験室とかに出てきそうな、、、。



そのすぐそばにあったカメラ屋さんのショーウィンドー  
これは懐かしい、8mmカメラですね。

いまではデジタルビデオに取って代わられました、  
8mmフィルムといえば、自主制作映画の王道だったんです。

飾るんだったら、せめてレンズだけでも掃除してあげて  
ほしいなあ。



睨まれてる。  
やっぱり、猫に嫌われてますね、わたくし。



はっきり言って、地球外生物にしか見えません。



叡山電鉄、略して叡電。

一言で言えば、ゆったりとした電車です。

あと、アニメ・タイアップが非常に多い。

この日も、何かのキャラクターがプリントされていました。



こういうアパートが現役で残っているのも、このあたりの風情です。

6畳一間、共同キッチン、共同トイレ。風呂は近くの銭湯で。

わたしが学生の頃はそういうのが当たり前でした。

でも、いまだってシェアハウスなんてのがアリですからね。

そういう暮らし方って、無くならないんだろうなあ。



ここもそういうのの一つ  
映画の撮影に使われたりとかもしたそうです。  
どう？ って聞かれたら、住みたいです。家族が居るので無理ですけど。



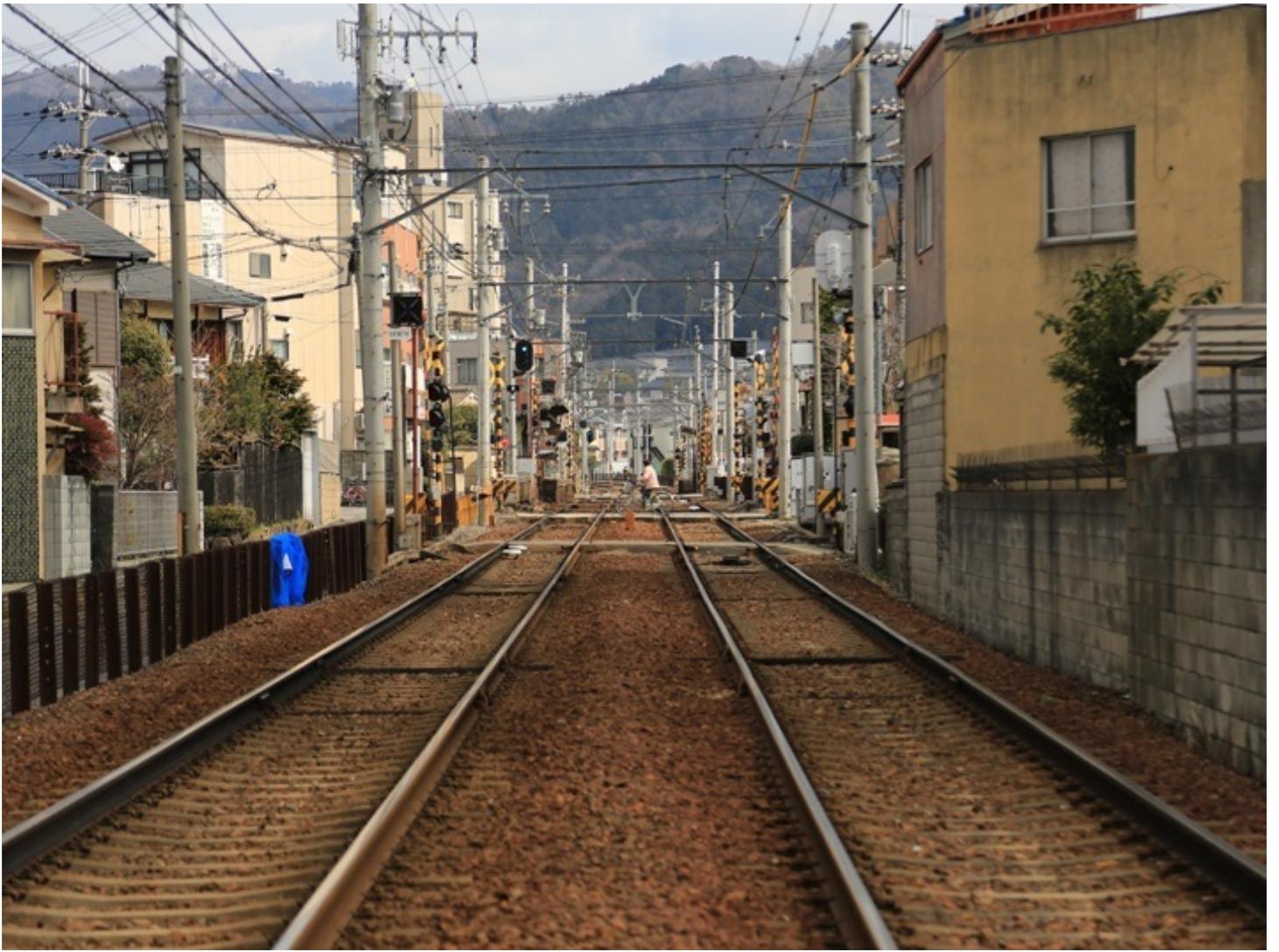


線路を渡る猫をみるのは初めてでした。  
白足袋はいてますね、この猫さん。



---

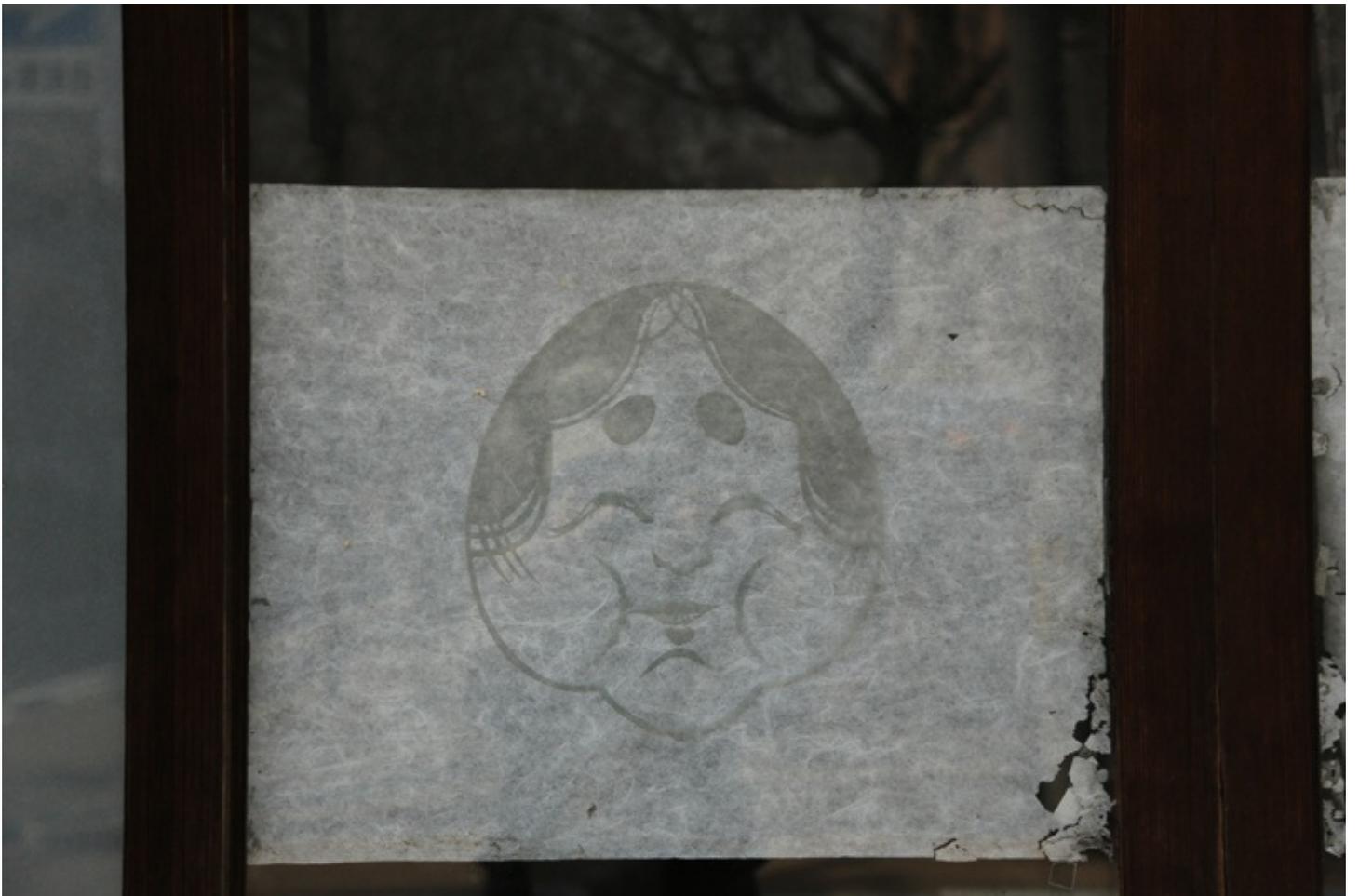
ふつーに、家の外に、水槽置いてあるんです。  
、、、ありえへんわー。



猫も渡るが、自転車も渡る。  
踏切多い！



この造形は渋い。  
四角を組み合わせてあるだけなんですけどね。



扉のガラス部分の目隠しに貼ってあるようなのですが。  
世間体を考えると、普通は貼らないです、こんなの。  
でも、世間を気にして、目隠しを貼ってあるという矛盾。

結論としては、この家の主は変人だ、ということよろしいかと。



他所の家の宅地建物をなんとかする前に、  
この家をなんとかした方が、よくわないでしょうか。



なんというかその。

扉にせよ、植木にせよ、玄関灯にせよ。

ただそこにあるだけなんです、写真になるんですよー。

現代の住宅では絶対にこうはなりません。

現代人は何をデザインして来たんでしょうか。



発進！



変な顔。

詩仙堂です。



ここは非常に有名な本屋さん。  
自宅近くにも支店が有るんですが、そちらには無かった本を  
一冊買って帰りました。



その近くにあったヘアサロン

この通り全体がこう言う雰囲気なわけでは有りません。残念ながら。



昼食をとったベーグル屋さん。  
なんだったっけ。トマト&ペッパーのベーグルと、  
豆乳&抹茶のベーグルだっけ。

クリームチーズを挟んであっためるオプションありでした。  
ごちそうさま。



横目でにやりと笑うロボット



この配置にはコンセプトが感じられない。

特に、植木の”なんだかシュール”さに笑える。



歩いたのは3月の初め頃なので、緑が殆ど有りません。



鳶が水を飲みに河原に降りていました。  
鳶というと、野原の上を舞っているイメージが有りますが、  
鴨川沿いの上空には、必ず鳶が円を描いています。  
もちろん、ぴーひょろと鳴きます。





竹馬の練習中。小学校でやるんでしょうね。  
でも、近頃の子供って、母親相手に練習するんですね。  
過保護。



部活でランニングしたり、



2人で石の上を飛んだり、



ギターの練習したり、



帰宅部だったり、



このあたりの鴨川・高野川は、この地域で生活している人たちの  
人生のひとコマがすれ違う場所なんですね。

、、、という、ええ調子で終わろうかと思ったんですが。



弁天さんなんですけど、そこに奉納されている絵馬が  
これです！↓



京都人のこと、やっぱり分かりません。



「passer un après-midi 午後の過ごし方」 <http://p.booklog.jp/book/84911>  
「Travelogue ep.02 桜巡り」 <http://p.booklog.jp/book/84667>  
「黄金の麦畑」  
1.Largo <http://p.booklog.jp/book/58662>  
2.Allegro molto <http://p.booklog.jp/book/83865>  
3.Adajo (連載中)  
「黄昏の王国」  
イーリアス編 <http://p.booklog.jp/book/49612>  
アリシア編 <http://p.booklog.jp/book/51254>

Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです na」 <http://p.booklog.jp/book/84165>  
Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです mu」 <http://p.booklog.jp/book/83952>  
「Travelogue ep.01」 <http://p.booklog.jp/book/83694>  
Photo 「Hina」 <http://p.booklog.jp/book/83499>  
Photo 「空と雪と、京都の路地は奥に深いです itu」 <http://p.booklog.jp/book/82880>  
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」 <http://p.booklog.jp/book/82643>  
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」 <http://p.booklog.jp/book/82160>  
Photo 「からくれないに ni」 <http://p.booklog.jp/book/81713>  
Photo 「Bleu, jaune, vermillon」 <http://p.booklog.jp/book/81111>  
Photo 「H.45」 <http://p.booklog.jp/book/80229>  
Photo 「Fly me to Paris I ~XIV」  
Photo 「旅とさけのころも」 <http://p.booklog.jp/book/74864>  
Photo 「空と雨と6月と」 <http://p.booklog.jp/book/74060>

小説  
「ネガティブズ」 <http://p.booklog.jp/book/73051>  
「ネガティブズ」

Photo 「空と僕と自転車と ni」 <http://p.booklog.jp/book/72996>  
Photo 「空と僕と自転車と」 <http://p.booklog.jp/book/72092>  
Photo 「空と椿と木蓮と、そして花水木」 <http://p.booklog.jp/book/71344>  
Photo 「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」 <http://p.booklog.jp/book/70700>  
Photo 「空と雲と、ときどき春の野を行く」 <http://p.booklog.jp/book/70137>  
Photo 「空と月と、夜桜デート」 <http://p.booklog.jp/book/69415>  
Photo 「空と木と、ときどきの梅暦」 <http://p.booklog.jp/book/68722>  
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」 <http://p.booklog.jp/book/65536>  
Photo 「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」 <http://p.booklog.jp/book/64153>  
Photo 「空と木とたまに月」 <http://p.booklog.jp/book/62540>  
Photo 「からくれないに」 <http://p.booklog.jp/book/61473>  
Photo 「空と雲と、ときどき月」 TEL <http://p.booklog.jp/book/36294>  
Photo 「夢みる桜」 <http://p.booklog.jp/book/45286>

— 僕カノシリーズ —

「僕が彼女に殺された理由 (わけ)」 <http://p.booklog.jp/book/31906>  
「僕と彼女の選択の事由 (わけ)」 <http://p.booklog.jp/book/35498>  
「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」 <http://p.booklog.jp/book/36101>  
「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」 <http://p.booklog.jp/book/36617>  
「僕と彼女と複雑な関係者たち」 <http://p.booklog.jp/book/37238>  
「僕と彼女と単純な関係者」 <http://p.booklog.jp/book/37731>  
「僕と彼女と校庭で」 <http://p.booklog.jp/book/38409>  
「僕と彼女と校庭で 夏」 <http://p.booklog.jp/book/38977>  
「僕と彼女のアリア」 <http://p.booklog.jp/book/46524>  
「僕と彼女のインベンション」 (次回)

— その他 —

傘がない <http://p.booklog.jp/book/69798>  
夕暮れの赤ちようちん <http://p.booklog.jp/book/42024>  
いもうと <http://p.booklog.jp/book/40794>  
サマータイム・ブルース <http://p.booklog.jp/book/34054>  
危険なドライビングマジック <http://p.booklog.jp/book/33630>  
デフラグメント <http://p.booklog.jp/book/33116>  
インフルエンス あのころの僕たち <http://p.booklog.jp/book/32752>  
花舞い、名残り雪 <http://p.booklog.jp/book/32187>

詞画集 「ただ憧れだけを」 <http://p.booklog.jp/book/34472>  
画集 「彼と彼女の表紙画集」 <http://p.booklog.jp/book/39345>

